

## 多自然川づくり取り組み事例

タイトル：樹木管理を通じた古川の環境維持について		
水系／河川名：太田川水系／古川	河川分類：大河川	
河川の流域面積：67.5km <sup>2</sup>	整備計画流量：450m <sup>3</sup> /s(W=1/38)	セグメント：2-2
事業：維持管理	事業開始年度 平成26年度	
目標設定：定性的	段階：C(モニタリング・評価時)	
課題・目的(主な)：水環境改善、その他		
工法(主な)：樹木伐採、除根		
配慮事項(主な)：その他		

### 背景・課題、目標設定

#### <背景・課題>

太田川の支川である古川は、地域と一体となった川づくりを行うなど、自然に触れあえる水辺環境整備を行ってきた。しかし近年では、樹木の繁茂・高木化や倒木等、水辺環境の悪化や利用時の安全性低下が指摘されている。

#### <目標>

市民・専門家・行政が協力して樹木管理に取組み、市民が今後も安全に利用できる水辺環境を維持することを目標とする。

### 取り組み内容・対策例

#### <現地調査>

- ・市民・専門家・行政が合同で現地調査を実施。
- ・樹木の繁茂状況等を確認し、伐木の必要性を共有。



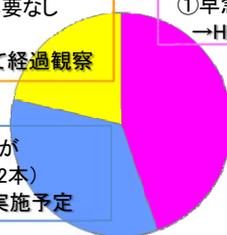
#### <樹木診断、伐木>

- ・樹木の繁茂状況や傾き、揺れ等を診断。古川の利用状況も踏まえ伐木の必要性を判断。⇒3種類に分類

③現時点では伐木の必要なし  
(20本)  
→河川巡視等を通して経過観察

①早急に伐木が必要(42本)  
→H27に伐木実施

②早急ではないが  
伐木が必要(32本)  
→H28に伐木実施予定



- 分類結果は平面図へ記載。
- 必要に応じて、詳細な樹木診断結果を診断表に記載。

### モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

#### <伐木前後の状況(H27)>



伐木前



伐木後

#### <今後の環境維持に向けて>



樹木管理ルールを作成  
定期的な意見交換会の実施、役割分担の明確化など

### 備考

問い合わせ先 中国地方整備局 太田川河川事務所 管理第一課

電話番号 082-222-9248